

オイスカ

in 四国
www.oisca-shikoku.org/

2019.April.
vol. 19

あなたも参加しませんか?
オイスカサポーターの輪

大好き日本の食卓 ● No.11 刺身

◎愛媛県 ◎香川東 ◎高松 ◎綾川 ◎三豊
◎坂出 ◎徳島県 ◎中讃 ◎高知県

推進協議会の活動報告

オイスカ四国研修センターと
各団体との連携

会長・事務局長
新任・退任挨拶



食卓	日本の	大好き
●	の	き

No.11: 刺身



トウ (24)
ベトナム・ホーチミン出身
[家政研修生]

先輩になって、他の研修生のサポートにもあたっています。

おさしみ

私は日本の料理が大好きです。味は薄くて(ベトナムの料理もだいたい同じです)、盛りつけもきれいだからです。ベトナムで日本の料理はとて有名なので、いろんな日本の料理をベトナム人は知っています。例えば、さしみやうどん、ラーメン、たこ焼きなどです。私はたくさんさんの日本の料理が好きですが、時々好きな料理が変わります。今「どんな日本の料理が好きですか?」と聞かれれば、今の答えは「おさしみ」です。ベトナムでは、何回も家族がさしみを買ってくれました。でもその時は、「この料理はちよつと食べにくいな」と感じていました。



スーパーで見る魚も季節によって違うので楽しいです

日本に来て、研修センターやパーティーでさしみを食べる機会がたくさんあったので、頑張つて食べてみました。最初は美味しくないと感じていました。それから何回も食べているうちに、だんだん好きになって、今では本場にさしみに溺れています。日本でさしみを作るときは魚が新鮮なので、食べる時もその味がまだ残っています。そしてワカメや大根、青じそと一緒に食べるともっと美味しくなります。日本のように、魚や卵などをそのまま食べる国は世界でも少ないです。日本人が魚をさしみにして食べようと考えたのは本当に面白いと思います。これからは、美味しいさしみのお店に行つて、いろいろなさしみを食べてみたいです。



オイスカの会員・支援者になって国際協力活動に参加しませんか?

OISCA オイスカが進める人材育成、海外開発協力、「子供の森」計画および啓発普及活動は、長期的な取り組みが必要です。継続的なご支援をお願いいたします。

今すぐできる支援の方法は5つ 無理なく続けられる方法をお選びください

■支援内容 支援に関する詳細は <http://www.oisca.org/support/> または下記問い合わせ先にご連絡ください

1 毎月の継続寄附	毎月500円でオイスカ活動をトータルにサポート。8月に年次報告書が届きます。 ●ワンコインサポーター.....500円×12カ月 ※月々の自動引き落とし。 毎月2,000円からのオイスカ活動トータルサポート。月刊「OISCA」で活動の様子をご報告。 ●マンスリーサポーター.....2,000円×12カ月 ※2,000円以上、任意(1,000円単位)の金額で月々の自動引き落とし。
2 自由な寄附	各種活動の推進のための寄附です。時期、金額(1,000円以上)、回数は自由で、支援する事業をお選びいただけます。 ●海外開発協力事業 ●「子供の森」計画事業 ●人材育成事業 ●啓発普及事業(国内の森づくりなど啓発普及全般) ●啓発普及事業(海岸林再生プロジェクト) ●トータルサポート1,000円~(いつでも何度でも) ※1,000円以上のお申込みで、金額は任意となります。
3 「子供の森」計画支援	年間1口5,000円で「子供の森」計画を支援して下さる方を募集。 支援証、活動を伝えるニュースと現地の子どもたちからのグリーティングカードが届きます。 ●「子供の森」計画支援.....5,000円/年
4 賛助会員	オイスカの活動に賛同し、ともに歩んで下さる方を募集。月刊「OISCA」で活動の様子をご報告。 ●維持会員.....20,000円/年 ●特別会員.....50,000円/年
5 集めて送る	自宅にいなから参加できるボランティアです。ベルマークは1点=1円で「子供の森」計画に、書き損じはがきは各種活動推進のために使われます。 ●ベルマーク ●書き損じはがき

問い合わせ先

◆四国支部	〒760-0017 香川県高松市番町2-17-15 第二讃機ビル2F	TEL:087-821-1503
◇高松推進協議会	〒760-0017 香川県高松市番町2-17-15 第二讃機ビル2F	TEL:087-821-1503
◇坂出推進協議会	〒762-0011 香川県坂出市江尻町1721-10[(株)石井内]	TEL:0877-45-0141
◇三豊推進協議会	〒769-1502 香川県三豊市豊中町笠田笠岡3915-3[(株)イナダ内]	TEL:0875-56-6001
◇香川東推進協議会	〒769-2304 香川県さぬき市昭和5806	TEL:0879-52-5070
◇中讃推進協議会	〒763-0034 香川県丸亀市大手町3-2-1[四国電力(株)丸亀営業所内]	TEL:0877-22-5973
◇綾川推進協議会	〒761-2103 香川県綾歌郡綾川町陶5179-1[オイスカ四国研修センター内]	TEL:087-876-3333
◇愛媛県推進協議会	〒795-0064 愛媛県大洲市東大洲1220-1[CELCO JAPAN内]	TEL:0893-25-0033
◇徳島県推進協議会	〒770-8555 徳島県徳島市寺島本町東2-29[四国電力(株)徳島支店総務課内]	TEL:090-3181-0158
◇高知県推進協議会	〒780-0870 高知県高知市本町1-6-24[高知商工会議所総務部内]	TEL:088-875-1177
◆四国研修センター	〒761-2103 香川県綾歌郡綾川町陶5179-1	TEL:087-876-3333

●会長退任挨拶 | 石井 淑雄 |



平成24年(2012年)に会長へ選出されまして以来、会員各位のご支援により、大過なくその任を果たせましたことを心より感謝申し上げます。会長在位六年に及び、会長交代の時期であると感じておりましたところ、幸い副会長として私を助けてくださっているオイスカ高松推進協議会の泉雅文氏にバトンタッチすることができました。泉雅文氏は、人格識見ともに高く、かつまたJR四国会長として四国全域の事情に通じておられ、本会の隆盛のために必ずやご尽力いただけることと信じます。

長い間皆様に賜りました格別のご厚情に改めて感謝申し上げるとともに、さらなるご発展を祈念申し上げます。誠にありがとうございました。

●会長就任挨拶〔オイスカ四国支部の発展に向けて〕 | 泉 雅文 |



オイスカ四国支部第4代会長就任に当たり一言ご挨拶申し上げます。
平成5年4月に発足したオイスカ四国支部は、佐藤忠義初代会長のリーダーシップの下、オイスカ四国研修センター(香川県綾歌郡綾川町)の運営支援や四国4県での国際協力への理解促進や会員増強など啓発活動を展開。その後、山野善正第2代会長、石井淑雄第3代会長に引き継がれ、組織の維持発展を図ってまいりました。また、今般、石井前会長、宮嶋愛媛県支部会長他関係の皆様のご尽力により、愛媛県支部と合流し、四国支部の新たな一歩を踏み出すこととなりました。

さて、母体のオイスカは、「すべての人々がさまざまな違いを乗り越えて共存し、地球上のあらゆる生命の基盤を守り育てようとする世界」を目指し日本で1961年に産声を上げましたが、創設者の中野與之助初代総裁は「いずれ日本は海外から助けをもらう時代が来る」とも指摘。近年の産業界での外国人受入れも予見されていたそうです。

私自身は、社業の関係で「たまたま」オイスカと縁を持つことになったのですが、いざ係わってみると関係者が「富士山の森づくり」や「海岸林再生プロジェクト」などに参加していることが分かり、オイスカ活動の広がりや多様な人的ネットワークを構築しておく「人の繋がり」の大切さを改めて強く感じた次第です。

SDGs(持続可能な開発目標)17項目の内12項目が環境問題に関わる内容となっており、オイスカは主にアジア太平洋地域で問題解決に取り組み、日本の国際社会からの信頼にも大きく貢献しているところ。このような活動は、多くの方のご理解ご支援なくしては継続することができません。今後も会員増強に邁進し、そして皆様とともにオイスカ四国支部を盛り上げてまいりたいと思っております。四国は志国とも云われます。四国支部の志は高く、今後もよろしくお願いいたします。

●事務局長退任挨拶 | 河崎 和義 |



平成24年(2012年)4月にオイスカ四国支部事務局長へ就任して、6年が経ちました。
前任の富田義雄事務局長の後を受け、事務局長という大役を頂いた時の緊張感、今でも忘れられません。多くの皆さんとの出会いがあってこそ、今の自分があります。事務局の池田君、廣野さん、お世話になった皆様、紙面でのご挨拶で失礼いたします。本当にお世話になりました。

●事務局長就任挨拶 | 塚田 修一 |



河崎和義氏の後を引き継ぎ、四国支部事務局長を仰せつかりました塚田です。とてもその器ではありませんが、泉会長のご推薦もあり、お受け致しました。思い起こせば、オイスカを創立された中野與之助翁が提唱された『開港と教育』という大きな目標に賛同した青年たちが、オイスカ四国研修センターに集まりオイスカ香川県青年会を結成したのが、そもそもの組織化の始まりでした。

あれから40年という月日が瞬間に流れ、佐藤顧問をはじめ「元青年」の方々の努力があり、素晴らしい団結力ある組織に発展してまいりました。中でも、石井前会長は「趣味はオイスカ」と常々公言しておられるオイスカマンであり、その指導力に先導され、ここまで来たのであります。先人たちのご努力に負けないよう、また、あのころの「青年」の気持ちに立ち返り精一杯つとめてまいりますので、よろしくお願いいたします。

平成30(2018)年度オイスカ四国支部の事業活動より(写真報告)



春のつどい(幹事会・講演会・懇親会) (平成30年4月23日) | 駐日ミャンマー大使ご一行歓迎会 (平成30年7月26日) | 第26回オイスカ四国のつどい (平成30年10月19日) | 佐藤忠義初代オイスカ四国支部会長

◆オイスカ四国研修センターと各団体との連携

昨年10月のオイスカ四国のつどいで四国研修センター及び西日本研修センターの研修生が会場を盛り上げてくれました。通常、一緒にいることのない研修生同士が会員の皆様の前で歌や踊りを披露出来たことは当センターにとっても新しい試みでした。

オイスカ理念の共有のために取り組めることを、四国研修センターでも研修生との交流を通じて、色々と試しているように思っています。近年、日本の地方に来る外国人が増加していますが、毎年センターにも香港やマレーシアなど様々な



オイスカを知らない人達ともつながることができました

国からの来客があります。その中で研修センターの活動を見てもらうだけでなく、研修生や日本の学生との交流

も進めています。例えば、海外の学生が四国へ来た際は日本の学生と意見交換の場を作り、お互いの学びや価値観の共有を図ったり、各オイスカ推進協議会の方達と研修生とで様々な新しい地域貢献活動を行ったりしています。研修生にとっては、地域活性化の目線で勉強が出来ると共に、オイスカ活動の普及啓発にも繋がっています。

また、外部のイベント運営に研修センターも主体的に参加する等お互いの強みを活かして、マンネリの打開と新たな可能性を発見することにも挑戦しています。

このように、オイスカ独自では力不足が認めない部分を他の団体との連携を図り、多様性があり共存を進める活動をしてまいりたいと思っております。

オイスカ四国研修センター

所長 小野 隆

推進協議会の活動報告

愛媛—愛媛県

会長 宮嶋 嘉則

MI.LOVE10(オイスカの森 in えひめ)

「松山に降り立つ時、また、旅の思い出を抱き松山を離れる時、飛行機から見える小山を桜いっぱい山に変えよう!」そんな想いの下、松山空港近くに鎮座する標高49・1mの忽那山(くつなさん)で活動を開始したのは2011年3月6日のことでした。長年にわたり放置されていた山は、我々の侵入を拒むかのように太い蔓が生い茂っており、草を掻き分けトゲと戦いながらのスタートとなりました。



毎年、春と秋に「陽光」という桜の苗木を植えております。愛媛県の高岡正明さんによって創りだされた環境適応力の高い品種です。一年に2・3回、下草刈りも行っており無事に大きく育った苗木たちは、3月下旬になると濃いピンクの花を咲かせています。

しかしながら自然の力は強く我々の行く手を阻みます。植えても根付かない木、大きく育っても途中で倒れてしまう木もあり、皆で溜め息をつくこと頻りです。目標達成にはまだまだ遠い道のりですが、一歩ずつ桜満開の景色を目指し頑張っております。



木々を覆い隠す勢いで夏草が茂ります



桜の木の下で記念撮影。「来年も再来年も、きれいな花を咲かせてくれますように!!」

香川—香川東
会長 富田 義雄

さぬき市立造田小学校との国際交流

オイスカ香川東推進協議会が協力する研修生と造田小学校との国際交流は、今回で三年目となりました。
一年目は、6月にサツマイモのツル挿し作業を行い、11月に収穫祭（収穫したサツマイモで焼きイモをして一緒にいただきますながら、カルタ取り・コマ回し・ケン玉などで遊ぶ）で交流を深めました。



みんなで協力して、うどん作りを楽しみました

二年目は、プランターにパンジーの植え付けをする共同作業を行い、給食を共に楽しみました。
三年目となった昨年度は、5年生と研修生4名が班ごとに分かれ一緒にうどん作りを行いました。本場さぬきうどん協同組合の香川政明顧問等うどん作りのプロから解りやすく指導していただき、苦戦しながらも出来上がり、みんなで美味しく頂きました。そして食後に、5年生による英語でのお芝居を楽しみました。
オイスカを多くの人に知ってもらうため、今後も継続して実施サポートしていきたいと思えます。



上出来のうどんに思わず笑みがこぼれます

香川—綾川
会長 大方 義裕

感動！オイスカマレーシアを訪問して

オイスカ綾川推進協議会では、平成31年1月14日から21日までの八日間マレーシアのクアラ Lumpur とコタキナバルを訪れ、OICM（オイスカ・インターナショナルマレーシア）や、オイスカテノム研修センター、キープク小学校等を視察して交流を行いました。参加者は14名でした。



研修生とスタッフから大歓迎を受けました（サバ州テノム研修センターにて）

OICMでは、文化開発部の廣瀬純子さんの案内により、クアラ Lumpur にあるマラ・オイスカ日本語センターで熱烈的な歓迎会が開かれ、生徒達が民族舞踊などを披露してくれました。
サバ州のキープク小学校では、文化開発部の廣瀬純子さんの案内により、クアラ Lumpur にあるマラ・オイスカ日本語センターで熱烈的な歓迎会が開かれ、生徒達が民族舞踊などを披露してくれました。

また、今回の視察ツアー特別目玉として、ガディさん（四国研修センターで指導員として三年間勤務）が、我々一行を自宅へ招待してくれました。ご両親はじめ一族100名余りの大歓迎を受け、皆で歌い踊り夜遅くまで楽しく過ごしました。お父さんが造ったサバ州の地酒「タバイ」も非常に美味しかったです。
オイスカ活動の基本は、「人づくり、森づくり、村づくり」です。海外に向かい、また、新たに多くのことを体験することができました。

香川—高松
会長 泉 雅文

「子供の森」計画と「海岸林再生プロジェクト」へのサポート

オイスカでは、研修生や技能実習生の受け入れを中心とした人材育成事業をはじめとする国際協力活動を行っています。オイスカ高松推進協議会では、昨年度も「子供の森」計画への積極的な支援と、東日本大震災復興支援「海外林再生プロジェクト」の広報・啓蒙活動に取り組んでまいりました。



古本回収には研修生も参加し、御礼に「子供の森」計画カレンダーを贈呈しました

「子供の森」計画へは、古本の回収によるサポートを行っています。古本回収は広く一般の方にもオイスカを身近に感じてもらえる活動の一つであり、高松市環境活動展への出展等による広報活動に力を注いだほか、年末には「子供の森」計画お助け隊を組織し、会員企業や支援



元日経新聞論説委員の小林省太様より「海岸林再生プロジェクト」について講演いただきました

今年度も、次期会長である松野誠寛氏のもと継続して取り組んでまいりますので、ご協力よろしくお願いたします。



大震災復興支援「海岸林再生プロジェクト」へは、四国はじめ世界各地から一年間に約2000人のボランティア有志が、つる豆抜き取り・下草刈り・排水促進の溝切り・ゴミ拾い等の活動に参加し、津波により失われたマツ林の再生に取り組む様子を、瓦町市民センターでの写真パネル展の実施等によって周知することで、広報・啓蒙活動を行ってまいりました。

香川—三豊
幹事 杉村 和洋

観音寺市立豊田小学校との交流授業

2018年11月22日、四国研修センターからジュタ（フィジー）・ミラ（マレーシア）・ピョー（ミャンマー）・金澤（職員）に参加してもらい、豊田小学校との交流授業を行いました。



2年生：アニメについての発表

2年生との交流は、英語を交えての交流となり自己紹介を英語でしてくれました。日本のアニメが世界でなぜ人気なのかを発表してくれました。その後オイスカから、オイスカの説



明や研修生の国についてのクイズとゲームなどを行いました。クイズで結構時間を使ってしまう、ゲームの時間が短くなってしまいました。最後にみんなで記念撮影を行いました。

1年生との交流は、研修生にけん玉、あやとり等の日本の遊びを説明していただきました。その後、みんなに体験してもらい、研修生も初めて遊ぶので楽しんでくれたようです。2年生と同様、オイスカからはオイスカの説明とクイズなどを行いました。最後にみんなで記念撮影を行いました。



1年生：お手玉にチャレンジするミラ

香川一坂出

会長 森崎 敏彦

尾の瀬山植林活動の日

平成30年11月11日(日)、香川県まんのう町「尾の瀬山オイスカ憩いの森」で、ヤマザクラ植林地の除草刈り作業と補植活動の山林SUN体験がありました。朝から素晴らしい天気に恵まれ、私は小学3年生と4年生の孫2人を連れて初めて参加しました。急斜面の移動



天候に恵まれ100名を超える方に参加いただきました

は、子供と71歳の老人との持久力の差を改めて感じましたが、大勢で一緒に作業をする事はとても良いもので、山の斜面で沢山の人が作業をしている光景も素晴らしいです。



しかつたです。活動の後は温かい天ぷらうどんとおむすび、なすの奈良漬け等をいただきました。とてもおいしかったです。その日の段取りをして頂いたスタッフやオイスカの研修生にはとても有り難く感謝しています。皆さんと一つの事を行う達成感、これぞオイスカ活動！を体験した一日でした。



研修生と四国電力総連の青年有志に準備いただいたウドン。大好評でした



きれいな花を咲かせてくれるようお願いながら2人一組で丁寧に植樹しました

香川一中 讚

会長 中野 百合子

研修生と楽しい国際交流クリスマス会

研修生の日本語試験も終わり帰国を控えた2018年12月上旬、国際ソロプチミスト丸亀との合同クリスマス会を総勢53名で開催しました。今回は、会員の新光電装(株)男性社員による琴の演奏が披露され、研修生達にとって珍しい楽器だったようです。日本古来の代表的



フラの名曲「月の夜は」を皆で踊りました

作品「六段の調や現代音楽「花」、流行歌「涙そうそう」など幅広いレパートリーを披露してください。そして、美味しいうどんコースで

テーブルマナーのお勉強もできたようです。研修生に加えてセンターで配属前研修中のインドネシア介護技能実習生の参加もあり大勢で、とても賑やかでした。また、本年2019年4月にオイスカ四国支部会長へ就任された泉雅文様と奥様の両会員にも参加いただきました。研修生の歌やアトラクションも楽しみ、最後の締めはソロプチミスト会員によるフラダンスです。研修生は衣装(スカートとレイ)を借り、参加者全員で踊った後、名残惜しく握手したりハグしたり大盛り上がりで閉会となりました。



楽曲の演奏。参加者全員による演奏。聞き入りました

徳島一徳島県

会長 岡田 典子

花植えボランティア活動への参加

「とくしままちなか花ロードProject」に5月19日、9月22日および1月19日の三回、オイスカ徳島県推進協議会事務局など約30名が参加しました。



花いっぱい町づくりのため大勢のボランティアにより丁寧に植付けられます

この活動は、市民の皆さんや観光客に気持ちよく過ごしていただきたいとNPO法人「新町川を守る会」が中心となり平成26年に始められました。JR徳島駅周辺の道路沿い南北600m、東西1500mの



植樹帯や花壇を整備して徳島市を花いっぱい町の町にするのが目標で、当協議会事務局も第2

回から参加しています。毎回、市民や企業からのボランティアなど老若男女200名以上が早朝7時半に集まり、約2時間かけて一万株以上の花苗を慣れない手つきながらも丁寧に植付け、美しい景観づくりに汗を流しました。花々に満たされた美しい市街地となるよう今後も取組んでまいります。



高知一高知県

会長 青木 章泰

「夏休み親子ふれあい木工教室」を開催

平成30年8月3日(金)に「夏休み親子ふれあい木工教室」を開催しました。オイスカ高知県推進協議会では、毎年、夏休みに子どもたちの夏休みの研究・学習の支援と身近な自然環境への理解を深めることを目的に実施しております。



最高の笑顔で最後に参加者全員で記念撮影

今回は、初めて四国電力労働組合高知支部と共催し、親子24名が参加しました。木工教室では、小さなお子さんでも参加



できるよう、金づち・釘を使用せず写真立て付き鉛筆立てを作成しました。また、作品が早く終わった子ども

たちは、「つみ木シャワー」を体験してもらい、楽しいひと時を過ごしていただきました。参加者からは、「子どもと触れ合う時間ができ大変良かった」「つみ木でもっと遊びたかった」などの声が聞かれました。オイスカ高知県推進協議会では、今後もさまざまな機会を通じてオイスカを広く知ってもらえるような活動を展開したいと考えております。



どこまで高く積めるかな。真剣な表情の子もたち